

きみかげの森オープン…300人の歌声がこだました！



今年後半のビッグイベントは何と言っても、きみかげの森オープンセレモニーでありました。ウッドデッキステージの柿落としは10月8日(月・祝)と早くから決め、実行委員会を組織し着々と準備を進めてきました。工事を担当した人達には限られた予算の中でずいぶん御苦労をいただきましたが、素晴らしいステージが産声をあげました。



当日は好天に恵まれ、300人近い人達が都祁の山にお越しくださり、来賓として県協働推進課長上田博文さんからご祝詞をいただきました。木の香り、せせらぎの音、おいしい空気、池に咲く睡蓮の花、草月流の岩本奈智子さん達に作っていただいた竹のオブジェ、田原伝統芸能保存会の千本餅つき、月ヶ瀬のやまびこ太鼓など(森の中の催しが珍しいこともあり)皆さんに喜んでもらうことが出来ました。そしてなにより当法人副理事長を務める荒井敦子さんがかねておっしゃっていた「ほんとうの森の中で歌うのが私の夢です」が実現し、まっぼっくり少年少女合唱団、まほろばコーラス、コールピュアランド、むろうコーラス、きみかげコーラス荒井先生ご指導のグループ総出の出演、歌声が森の中でこだまし素晴らしい雰囲気に。



感動を語る 荒井敦子理事▶



ここまでこれたのも、工事に関わってくださった人達に加えボランティアスタッフ、そして常に温かくこのNPO活動を支えてくださっている会員皆様のおかげであり、感謝の気持ちでいっぱいでした。山の中でもあり、丸太を二つに割っただけの椅子でご不便をおかけしたし、トイレも簡易トイレ、障害を持つ人を迎える用意もできていないのが心苦しい。まだまだ整備途上ではありますが、多くの人達に支えられてきみかげの森が素敵なステージと共にデビュー出来たことは、私達にとって大きな励みになりました。

池田圭俊副理事長による
開会挨拶と決意表明▶



▲森岡正宏理事長による開会挨拶



▲県協働推進課長
上田博文氏からご祝詞



▲森と人のネットワーク奈良
岩本泉治氏による森の解説



小西英玄理事の名司会で舞台進行▶

ロケーションは自慢できるし、このような雰囲気のある森のステージは他にないだろうと思うのでこれからも広くこの森を活用してもらえよう呼びかけていきます。また、私達も森林環境教育の場として生かしたいと考えています。

森の会場では「ぼちぼち畑で収穫した蕎麦粉を使った会員手作りの銘菓「そばボー」や東日本復興支援の商品などを販売▼



▲村上理事が奈良芸術短大のご協力を得て制作した「きみかげの森」の入口に立つ素敵なモニュメントが、多くの皆様の来訪を待っています。

▼森の「かるがも池」にはコウホネや睡蓮の花が咲きました



楽しい収穫祭、でも雑草と獣害対策が課題…

7月21日(土) ジャガイモ収穫

11月20日(火) 黒豆収穫

11月23日(金・祝) さつまいも収穫

ぼちぼち畑では、ジャガイモ、サツマイモ、黒豆を収穫しました。ところが、今年はジャガイモが昨年の収量の4割減、サツマイモと黒豆は雑草とイノシシ、鹿などの獣害に遭い私達をガッカリさせました。でも、ジャガイモの味は天下一とご好評をいただきありがたいことです。失敗した点はこの次の成功のバネとなるようがんばりたいと思っています。

12月8日(土) 秋の収穫祭

サロン木屋庄で今年も採れた食材を使って料理の腕を競い、約20種余りのメニューで楽しい収穫祭を開催できました。



▲ジャガイモの収穫を終えて

さつまいも収穫の休憩タイム▶



▲じゃんけん大会で
地場産の野菜をゲット



収穫したさつまいもと黒豆が主役▶

私たちの活動の頂上はまだまだ見えませんが、一步一步確かな足取りで新年に向かう所存であります。皆様どうか良いお年をお迎えください。